

2023年7月30日（日）

時間 13:30～15:30 ご講演
15:45～18:00 質疑応答

場所 関西大学千里山キャンパス
第1学舎3号館（C棟）C101教室
(<https://www.kansai-u.ac.jp/ja/about/campus/>)
※ Zoom 同時配信予定

講演要旨

日本の敗戦と前後して鈴木大拙は、霊性的自覚に基づく新生日本の建設について積極的に発言するようになる。それらにあつては、人が知性的分別の立場からさらに霊性的自覚の立場へと進むことによって、人間存在が本来自他不二のかつ共生し共苦するものであることが自覚されること、そしてこの自覚に基づいて平和世界が建設されるべきことが繰り返し説かれる。

大拙によるこれらの主張は、一種の文明批判であると同時に、人間形成論として受け止める必要がある。彼が問題としたのは、平和を実現する創造の働きとはどのような性格のものであるかということであり、人がその担い手である以上は、それはいかにして人の手から平和を創造する働きを導き出すかという問題でもあったからである。

本発表では、大拙と彼の親友西田幾多郎との戦時下における書簡等のやりとりも参照しつつ、大拙の霊性的自覚の主張から見る人間形成の可能性について見てゆくことにしたい。

「霊性的自覚から見た人間形成」

二〇二三年度 第一回研究会（公開）

講師…水野友晴（関西大学 文学部 教授）

※ Zoom 配信も予定しております。オンライン参加をご希望の方は下記までお問い合わせください。URLをお知らせいたします。慶應義塾大学 眞壁宏幹 (hmakabe@keio.jp)。